

業務連絡

2021年4月28日
JR東海労新幹線関西地本
編集 業務部 No.24

2021年4月21日、関西支社会議室において「申」第30号について、会社は団体交渉の開催を拒否し、会社側幹事から口頭による回答がありました。

以下、組合の申し入れと会社回答。

「2021年3月ダイヤ改正要員」に関する申し入れ

2月15日の業務委員会でダイヤ改正要員が出された。関西支社で運転士△15名、車掌△31名である。車掌の二人乗務により車内での業務の負担が多く更に要員減となるとお客様や乗務員の安全が保たれない。以下の申し入れをするので、早急に団体交渉を開催すること。

1. 2021年3月ダイヤ改正による要員等の業務委員会で運転士△15名、車掌△31名と説明があったが要員削減の理由と根拠を明らかにすること。

【会社回答】これまでと同様、昨今のお客様のご利用状況や臨時列車の設定規模等を踏まえ算出している。

2. 次回からは、ダイヤ改正前行路・交番と要員提示を同時に行うこと。

【会社回答】現行のスケジュールが適切であると考えており、そのような考えはない。

3. のぞみ号の2時間27分運転が15本増加している。現行（2時間30分）より3分減で3分×15本で1日45分である。45分×365日で16425分、時間換算すると273.75時間で日にち（7時間労働）に換算すると39.1日（約40日）である。乗務人員（運転士1名・車掌2名）40日×3名で5所のトータル120日の余裕（効率化）が発生し、更なる労働強化となる。乗務員の安全と健康に対する補償措置として労働時間の短縮（6時間45分/日）を行うこと。

【会社回答】支社権限外事項であり、そのような考えはない。

ダイヤ改正前に要員提示を行い、組合との協議を行え！

昨年の設定キロと同じなのに、なぜ要員削減ができるのか！

乗務員のさらなる労働強化反対！！